

農大だより

発行日：平成25年3月20日
 発行：岐阜県農業大学校
 可児市坂戸938
 Tel:0574-62-1226
 Fax:0574-62-1227

◇目次◇

将来の本県農業を担う学生の巣立ち
 農大生を応援する会から就農奨励金が交付されます
 学習の成果を披露
 わくわくミルク教室を開催
 飛騨地域指導農業士夫人を受入れ
 農大ブランド&プロジェクト紹介
 春里トピックス



将来の本県農業を担う学生の巣立ち



平成25年3月5日に「平成24年度岐阜県農業大学校卒業式」を行いました。農業に憧れを抱いて入学した学生31名が、2年間の課程を修了し巣立ってきました。

卒業生を代表して杉山瑠美が「農業だけでなく、人との関わり方など多くのことを学んだ」「農大で得たものを糧に悔いのない人生を送りたい」と感謝の言葉を述べました。



農大生を応援する会から就農奨励金が交付されます

卒業式の中で、将来岐阜県の農業を担う学生達に対して「岐阜県農業大学校生を応援する会」会長の前澤岐阜大学教授から、就農奨励金の交付決定通知書が授与されました。

授与された学生は、垣根伸一郎で、前澤会長から「視野を広げて農業を経営してほしい」と励ましの言葉をいただきました。

奨励金は、3月13日に交付団体から手渡されました。



<写真:前澤会長と奨励金を交付される垣根>

平成24年度卒業生の進路

31名の卒業生の内、16名が就農や将来就農するための研修、農業生産法人などに進み、農畜産物の生産にかかわることになります。また、10名が農業に関係する職業に就き、多くの学生が本県の農業を担う道に進みます。

就農等	国内研修	農業法人等	農業団体等	農業系企業	一般企業	公務員等	合計
5	4	7	4	6	4	1	31

学習の成果を披露

2月7日に学習成果発表会を開催し、13人の学生が日頃の学習成果を発表しました。

当日は、農大生を応援する会会員や高校生、農林事務所職員等120名が聴講してくださいました。

農業経営課の高木技術指導監から「意見発表は将来の農業構想だけでなく自分の住んでいる地域のあるべき姿まで踏み込んだ点が良かった」「派遣学習は技術や経営だけでなく精神的部分まで学んだことがよく分かった」「卒論は新技術の実証に加え、経済性まで評価されていて感心した」

「在学中に学んだことを糧に、一層の研鑽と活躍を期待する」とご講評をいただきました。



<写真:卒論を発表する高橋>

わくわくミルク教室を開催

関市の旭ヶ丘小学校3年生に対して、関牛乳(株)と協力して食育活動を行いました。

当日は、本校畜産学科1年生7名と子牛1頭が小学校を訪問し、「牛の体の仕組みと牛乳ができるまで」をクイズにして分かりやすく説明した後に、「子牛とのふれあい体験」を行いました。

児童は、牛のえさを手に取り、感触と臭いを確かめたり、子牛の心音を聞いて驚いたり、不思議に思ったりと大満足でした。



<写真:牛について説明する学生と生徒>



<写真:自分のトマトを紹介する吉本>

飛騨地域指導農業士夫人を受入れ

1月15日に飛騨地域の指導農業士のご夫人18人の視察を受け入れました。

「いつもは学生を受け入れるばかりなので、学生が学んでいる学校を見てみたい」という提案があって実現しました。

当日は、学生が校内を案内し、自分のプロジェクトを紹介しました。

皆さんから「良くやっている」(お世辞かな?)と言っていました。

視察後は、学生と本校食堂で昼食を取って、別の視察先に向かわれました。

😊 農大ブランド&プロジェクト紹介 😊

福々しいだいこんをめざして!

だいこんは、根が生育中に曲がったり二股三股になったりします。真っ直ぐで福々しいだいこんを作るのはなかなか難しいものです。

それに農大の畑は小石混じりの粘質土壌で、排水性は良くありません。

日置くんは、うねの大きさや形を工夫して、真っ直ぐで福々しいだいこんを収穫しようと頑張っています。秋作では大きいうねほど成績はよく、今度は春作で挑戦です。乞うご期待!



<写真:だいこん畑と日置>

春里トピックス

東・近ブロック発表会を開催

1月22～23日に平成24年度東海・近畿ブロック農業大学校学生研究及び意見発表会を、本校で開催しました。東海・近畿地区の農大9校から、研究発表と意見発表それぞれ1名ずつ、18名が日頃の成果や自分の思いを発表しました。

本校からは、研究発表の部で垣根伸一郎、意見発表の部で靱山雄太が出席しました。

上位入賞者（右側写真の学生達）は、全国大会に出場します。



<写真:入賞した学生(右端は本校学生の靱山)>



全国大会で靱山が特別賞

2月19～21日開催された全国農業大学校等プロジェクト発表会・交換大会の意見発表の部に靱山雄太が参加しました。

靱山の発表は「販売に力を入れた農家を目指して」と題し、就農後の構想を具体的に述べる内容で、高評価をいただき、特別賞「アリストライフサイエンス賞」を受賞しました。

<写真:受賞した靱山)>

平成25年度「農業で夢再発見研修」研修生を募集します

本校では、岐阜県内で本格的に農業を始めたい方に対する研修を平成25年度も行います。

研修期間

第1回 4月15日(月)～8月 9日(金)

第2回 9月 2日(月)～1月10日(金)

募集期間

第1回 2月25日(月)～3月19日(水)

第2回 7月 8日(月)～8月 7日(水)

お問い合わせ、お申し込みは本校へ



校長のひとこと

校内の桜の蕾は、まだ固いですが、その蕾は確実に膨らみを増しており、春の到来はそう遠くないこの時期に、卒業生三十一名に卒業証書を手渡すことができました。何よりも確固たる志を持って、冷静に現状を見つめながら、自らの高い志を持ち続けてほしいと願うしだいです。そして、これからも自分の言葉で語り、自分の言葉で書くという「言葉をもって自己表現できる力」を養っていただくことを望みます。卒業生の皆様、誠におめでとうございます。

編集後記

急に暖かくなって草木の芽が動き始めました。農大では、来年度の作付けの準備が始まり、春休み中ですが、多くの1学年生が寮に残り、張り切って実習を続けています。